



# 道徳だより

令和3年9月

～夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校～



秋晴の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。2学期が始まり、緊急事態宣言下の中、日課や行事の変更がありました。子供たちは限られた時間の中で、意欲的に学習に取り組んでいます。

道徳だより9月号では、5年生の授業の感想をまとめましたので、御家族でお話のあらすじと同じ場面を思い浮かべながら、読んでいただければと思います。

## <5年生の授業より>

「のりづけされた詩」～自分の心に誠実に～ 内容項目 ★正直、誠実★

### ●お話の内容●

本にある詩を写して自分の詩として提出してしまった和枝が、先生に打ち明けたときのつらさや苦しさを捉えることから、誠実に明るい心で生活しようとするということについて考える話です。

授業を終えた子供たちの意見から

「どんな思いから、和枝は自分のしたことを先生に打ち明けたのでしょうか。」という問いに対してのみんなの感想です。

- ・自分がやったことをこうかいしちゃうし、ちゃんと素直に言っていなかったら一生悩むから。
- ・ずっとかくしているのは辛いし、いやだから。
- ・あの時、何で「地平線」という題名と詩をうつしちゃったのだろう。書き写さなくて、参考にすればまだよかったな。
- ・自分が書いた文集じゃないからみんなに見られたくない。先生に言おう。
- ・このまま先生に言わないとずっとつみをつぐなえないから打ち明けた。
- ・自分の詩としては見られない。こんな気持ちになるなら、全て話してしまって、反省して今度こそ、自分の詩を書いた方がいい。
- ・うそをつかないように、正直に生きようと思いました。
- ・うそをつかなければ、気持ちよく生活できるし、みんなから信頼されると思うので、正直に生きていきたいと思った。

家庭や学校生活の中でも、誠実にしなければならない場面ばかりです。大人でも、分かっているでも不誠実な行動をとってしまうことはないでしょうか。頭で分かっているだけでなく、心から理解し、行動に移せて初めて分かっているということにつながります。ぜひ、御家庭でも、「誠実とは何か」ということについて話し合ってみてください。

★例えば学校生活の中では・・・

- ・目の前にゴミが落ちているのに、「私のじゃない」と言って拾わない。
- ・当番等の仕事があるのに、友達と話すことを優先してしまう。
- ・家庭でやるべき家庭学習を行わず、学校で行ってしまう。
- ・友達がよくない行動をしているのを目撃したが、先生や他の子に伝えない。